

記憶とともに震災を考える

私たちは地震大国に住んでいて、忘れていけないだろうか。それは天災によって生命の安全がおびやかされた人、交通や物流が滞って生活の不便を経験した人たちがいることだろう。私たち「東日本大震災被災地応援実行委員会」が発足して8年経ったが、そのときの記憶が鮮明な生徒も少なくなるだろう。中学生・高校生で組織する委員会もその問題について話し合いをしてきた。昨年も「被災地に寄りそう活動」を目指して、地域のイベントで被災地を紹介しながら物品販売をしたり、募金活動を展開できた。そして2年前に神戸の「人と防災未来センター」を見学した体験から、学校の防災活動にも積極的に訴えることができた。

♡昨年までの委員会活動♡

- 毎月11日の募金活動
- 7月末、夏祭りへの参加
- 10月末二条北口ブース出店
- 11月末 ぶおkyoフェスタ参加
- 12月 クリスマスプレゼントの
買い出し・発送

2年前には、神戸市の
「人と防災未来センター」
まで地震についてより知識
を深めるため、訪ねました!!

☆新入生歓迎会での活動紹介☆

もう一度思い出してほしい。2011年の東日本大震災から8年。2016年の熊本地震。2018年は大阪府北部地震と北海道胆振東部地震。倉敷市真備町の集中豪雨被害、台風21号の猛烈な破壊力。自然災害をできるだけ少ない被害にとどめるためには記憶を風化させず、自分だったらどのように行動すべきか考えと備えを用意しなければいけない。

被災した地域の方々を勇気づけるのは、本当に必要なものを送ったり、励ましの手紙を送ったり、現地ボランティアに参加したり、そこでしか聞けない情報を配信したりさまざまな方法があるだろう。私たち委員会のメンバーは8年目の節目を新たにこれからも被災地のことを思い、共感できる活動を目指していきたい。

倉敷市真備町に届きました!!

感謝

4月2日に無事、大きな荷物を受け取りました。町の集会所に集まった方々でさっそく仕分けして、配ることができました。本当にありがとうございます。平安女学院中学校高等学校の皆さんから食料や日用品だけではなく、こころの温まるメッセージも頂けて本当に嬉しかったです。遠くからですが皆さんの今後の活動に期待しています。（真備町岡田地区 松王さんより）

委員会のメンバー紹介（高校2年生）

昨年イベントに積極的に参加してくれた新高校2年生の思いを紹介したいと思います。これから委員会を盛り上げるためどのような活動をしたいか抱負を聞きました。



高校2年2組 楠木 麻由 さん

高校1年生から委員会に所属し活動に取り組んでいます。支援をさせて頂いた方からのお礼の手紙などを目にする、よりやりがいを感じます。2年生となったいま、今年度もたくさんの人を笑顔にできるよう精一杯頑張ろうと思います！

高校2年2組 谷口 真美 さん

メンバーたちと、いま何ができることがあるかを共に考え、被災者を思うだけではなくて周りの友人、家族、自分自身の命も大切だと私の行動で伝えられたらと考えています。

高校2年2組 渡辺 雅奈 さん

昨年はたくさんのイベントに参加することができました。今年も様々なイベントに参加して、この委員会の活動を広めていきたいです。頑張ります！

高校2年4組 立入 麻羽 さん

新学年になり、私が委員会に入って5年目をむかえました。昨年に引き続き、「愛のある支援」をモットーに精一杯、頑張ります！！

高校2年5組 小川 凜子 さん

今までこの委員会で経験した募金活動やイベントを通して学んできたことを生かして、新しい活動を企画していきたいと考えています。よろしくをお願いします。

☆今年度の実行委員長は高校3年生の「勝浦あいみ」さんです。

他の高校2年生のメンバーと共に、来月の「轍」にインタビューを載せます。☆



新入生のみなさんへ！！

私たち、東日本大震災被災地応援実行委員会には新しいメンバーを募集しています。月に1回、ランチミーティングをしますので、是非参加してください！！